

平成21年度第4回 公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：平成21年7月27日（月）午後2時30分～午後3時38分

場 所：公立大学法人熊本県立大学大会議室

出席：学長 米澤 和彦  
副学長 古賀 実  
文学部長 三木 悦三  
環境共生学部長 大和田 紘一  
総合管理学部長 松岡 泰  
地域連携センター長 篠原 亮太  
学術情報リサーチセンター長 山田 俊  
文学研究科長 半藤 英明  
熊本近代文学館館長 河原畑 廣  
和洋女子大学学長 坂本 元子  
欠席：事務局長 富永 安昭  
熊本県立高等学校長会会長 石井 博憲

事務局：三角事務局次長、井上学生サービス担当次長兼教務入試課長、馬場総務課長、高橋学生支援課長、田中学術情報リサーチセンター事務長、枝國地域連携センター事務長、企画調整室上村主幹、教務入試課林田教務班長、教務入試課安達入試班長、教務入試課澤田参事

1 開会（進行：三角次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：米澤学長）

（1）報告事項

① オープンキャンパス及び高大連携“SUMMER COLLEGE”の開催について 資料1

事務局から、資料1に基づき、オープンキャンパス及び高大連携“SUMMER COLLEGE”の開催について、「昨日のオープンキャンパスは事前申込み1,171名に対し、当日の参加者は1,500名と、これまでにない参加者の多いオープンキャンパスだった。8月2日の総合管理学部のオープンキャンパスでは1,000名ぐらいの参加を見込んでおり、合わせて過去最高の参加者数になる見込みである。各学科共全て昨年度より上回っているが、特に英文と食健康科学科が多かった。また、保護者の増加が目立ったのが今年度の特徴である。例えば人吉高校は、保護者が20～30名来られていた。高校生では、福岡県立の山門高校から194名の参加申込みがあった。サマーカレッジについても参加者が多く、延べで1,200名ぐら

いの参加があった。9月以降に参加者のアンケートなどについても報告する予定である」との報告があった。

## ② 平成20年度休退学者の状況について 資料2

事務局から、平成20年度休退学者の状況について資料2に基づき学部の状況を中心に説明があった。「過去5年間の推移で、休学者、退学者共に数値的にはほぼ横ばいという状況である。休学者は、英文の場合留学を理由にした休学が多いので、内数を表示している。留学自体はここ数年減少傾向にあり、留学者を除くと、休学者全体としては50人前後で推移している。法人化後、休学者が増えているが、平成18年度から先生方に履修指導をお願いしている。各学部学科において、長期欠席者等の学生に対し、面談、相談をするようにしていただいております、その結果、休学に至った学生が増えたものと分析している。休学の理由として「進路についての悩み」の数が平成18年度から増えている。特に、平成20年度に増えているが、今後もう少し細かい分析をやっていきたいと考えている。

退学については、全体の数値としては30名弱ということで、退学率は1%前後で推移している。退学者の4割が2年生。2年次から3年次への進級があるので、1、2年生の間に学習面で悩んだ成績不振の学生が退学につながりやすい。進路変更を理由とした退学が増えており、転学、就職等も合わせると2/3を占める。転学、就職は決まっていなくても進路変更したいということで退学している学生が増えている。学生の事情を学生相談の際に確認することによって、今後休退学者を減らすことができるよう組織的な対応を検討していきたい。読売新聞の調査データを見ると、本学の退学率1%前半というのは、他大学と比較して数値的には低い方である。」

## ③ 平成21年度年度教員免許状更新講習受講申込み状況について 資料3

事務局から、平成21年度年度教員免許状更新講習受講申込み状況について、資料3に基づき次のような説明があった。

「本学では8月17日から25日まで開講することになっている。全国的には既に開講になったところもあって、7月15日の朝日新聞には、各大学とも受講者の確保に苦労しており、208講座が中止になったというような記事も出ている。本学では7月24日をもって受講申し込みについては締め切った。選択領域については85.6%の充足率で、当初の目標ライン7割を大きく超えた。必修領域は充足率48%でかなり厳しい状況ではあるが、全体としては74%の充足率。この講習は受講費用を原資とした独立採算制であるが、目標としていた予算額を受講者の7割相当としていたので、全体としては97%の達成率となっている。各講座毎の必修領域のうち17、18日に開催する講習は67%でほぼ達成しているが、24、25日に開催するもうひとつの講習の充足率が29%と低くなっている。必修は50人の2クラスを考えていたので、1クラスで実施する。選択領域は、総合管理学部の1つの講習が43.3%となっており、2クラスのうち1クラスのみ開講する。したがって、2クラス分未開講とな

るので、収支的には赤字を出さずに開講することができる見込みである。この講習は、高等教育コンソーシアム熊本の事業として各大学が協力してやっているが、それぞれの大学について集計した数値では、本学よりも充足率が高いところは九州ルーテル学院のみ。同大学は幼稚園の先生の科目を唯一開講している。九州看護福祉大学では、発達障害の児童生徒向けの科目を開講している。必修領域についても、他大学と比較して本学が特別悪いわけではないが、来年度に向けて改めて検討して来年度の講習計画をたてていきたい。」

## (2) 意見交換

平成 21 年度前期の総括について、各委員の意見交換が行われた。

## 4 その他

今回は、平成 21 年 9 月 24 日（木）10 時から定例会議である旨を確認した。坂本委員は御欠席されるとのことであった。

## 5 閉会 15 時 38 分